

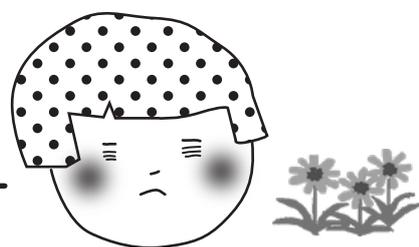
# 米軍犯罪 性暴力 根絶を

# 不処罰を許すな!

昨年以降、沖縄県の米兵が性的暴行事件で相次いで検挙されたにもかかわらず、県に報告されていなかったことが6月下旬に発覚しました。県が把握できないことで被害者のケアの機会が失われ、また犯罪への対策が講じられないために度重なる事件を防げなかった可能性もあります。

米兵犯罪の根底にあるのは、日米地位協定で特権を与えられ、日常的に殺人訓練をくり返す米軍基地の存在です。市民生活と基地は相容れません。

政府は口では「沖縄の負担軽減」「米軍の綱紀粛正」と言いながら、実際には沖縄県民が反対する新基地建設を強行しています。



## 私たちの尊厳奪うな

沖縄の女性は、いつまで米兵の餌食にされるのですか。私たちは沖縄で、尊厳ある一人として生きています。私たちの尊厳を奪う米兵のいる基地の撤去を、日本政府からアメリカに求めてください。これ以上我慢できません。(沖縄県名護市民の訴え)

環境も  
民主主義も  
平和も壊す

## 辺野古新基地建設は中止を

名護市辺野古・大浦湾への米軍新基地建設を巡り、政府は地盤改良工事のためのくい打ち作業を8月に開始しました。埋立は、多様性豊かな大浦湾の生態系を根本的に破壊します。しかも政府は、民意に裏付けられて反対を貫く沖縄県知事に対し、地方自治体の権限を奪う「代執行」という強権的な方法で進め、完成するのは巨大な軍事要塞です。環境も民主主義も地方自治も平和も壊し、私たちの血税を数兆円規模で投入する新基地建設は、ただちに中止すべきです。



辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地撤去を求める署名にあなたも!

日本平和委員会 2024年9月発行  
一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです  
「平和新聞」(旬刊)、「平和運動」(月刊) 発行中  
<http://j-peace.org/> (t) (f)

